妹！アンドロイド
いもうと
谷澤史紀
Presented by Shiki Tanisawa
VOLUME
05
Sister! Android
Young Champion RETSU Comics

Sister! Android
妹!アンドロイド
谷澤史紀
Presented by Shiki Tanisawa
Young Champion
RETSU Comics
VOLUME
05

Sister! Android

Presented by Shiki Tanisawa

VOLUME 05

CONTENTS

EPISODE No.	PAGE
[第33話]	003
[第34話]	025
[第35話]	047
[第36話]	066
[第37話]	085
[第38話]	109
[第39話]	131
[第40話]	151
[第41話]	173

妹!アンドロイド

★この作品はフィクションであり、実在の個人・団体等にはいっさい関係ありません。

FIRST PUBLISHING LIST

初出

[ヤングチャンピオン烈]

2016年No.5～6、8～12

2017年No.1～2

この物語は>>>

主人公の松田秋(まつだしゅう)は、漫画家を目指して都内の専門学校に通う、妹萌え気味でオタク趣味のさえない男の子。そんな彼が一人暮らしするアパートに、ある日突然やってきた自称妹型アンドロイドの少女・スイ!! 名前以外は全く謎だらけのスイのペースに終始乗せられっぱなしの秋は、何だかんだで彼女とドキドキ同居生活をすることになったのだが??

HEIGHTS
第33話

お兄サマ そんなに散らかして
明日お姉サマ来るのに怒られますよ

あとで片付けるよ〜〜〜
うるさいなー
はむはむ
ブルルル

あれ？ 姉ちゃんからだ
明日 急に姉ちゃん来れなくなったって

ラッキー
じゃ片付けなんていいや〜〜〜
ゴロ
ボリ ボリ
お姉サマ
彼氏でもできたんじゃないですか？
え？ なんで？
だって変じゃないですか あの弟大好きのお姉サマがですよ
弟をほったらかして他に用事なんて
他に考えられないじゃないですか？
もぐ もぐ
いや〜ないない
こないだ実家帰った時だって
アンタもいい年なんだはんで
誰かいい人いねんだがして
って母ちゃんに言われて

そんなのいらねー
じゃ――

だって秋ちゃん
いればいいもの～～～

とか
言ってたし
……

どーせまた
仕事かなんか
だろ

でも明日は
土曜ですよ

わかってませんね お兄サマ

お姉サマは明るくて
お綺麗なんですから

絶対に
モテますよ

え～そうか～
普通だろ？

それに万が一
彼氏だとしても
別に構わないしー

いい加減 弟離れ
してくれないと
こっちも困るし～～～

翌日――

ザワ ザワ

キョロ キョロ

くそー なんだよ スイのやつ

急にこんな所まで 呼び出しやがって

HEIGHTS

ぴよい

お兄サマ こっちです

なんだよ スイ

またそんな 格好して

いいから お兄サマ アレを見て 下さい

ん？

え!? アレ…

姉ちゃん!!

ホラ やっぱり デートだった じゃない ですか

で？ 誰なんだよ あの男は？

さあ？ 私は お姉サマを 尾行してきただけ ですから

お前 ヒマかよ

お兄サマは お姉サマのこと 心配じゃないん ですか？

べつに……

でも普通に考えたら彼氏さんですよね
そんなのわかんないだろ仕事の打ち合わせってことも
でも見て下さいよ お姉サマ 仕事の時はいつもスーツなのに
今日は私服ですよ
べ 別にスーツって決まりあるわけじゃないし
あ！
な なんだよ
お店出るみたいですよ
まだどこかに行くみたいですね
よし…！
こそっ
あっれー？
お兄サマもあと尾行けるんですか～？
やっぱり心配なんですねー

べ 別に わざわざ こんな所まで来たのに スグ帰るのもアレだろ

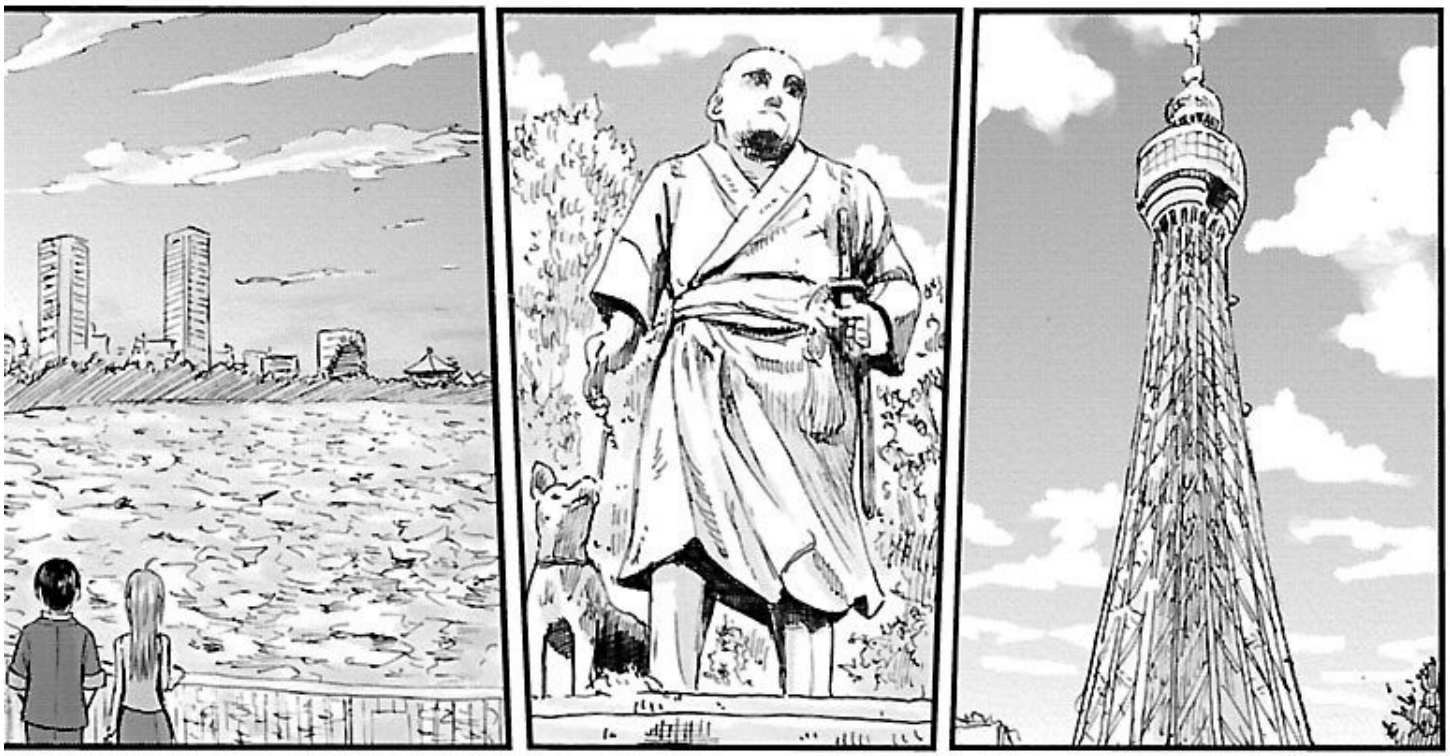
お兄サマ 素直じゃないですね〜

うわー さすが浅草

人でいっぱいですねー

お兄サマ はぐれないで 下さいよ

あ！ あの二人手つないでますよ
やっぱり恋人同士なんですよ
あっちもはぐれないようにしてるんだろ！



やっぱりコレ…デートですよね
……
今度は居酒屋に入るみたいですね

焼肉
COFFEE

ここからなら向かいのビルよく見えますね
あ ホラ アソコ

……姉ちゃん
男と酒飲んでる…

えへへ秋ちゃーーん お姉ちゃん酔っちゃったー♡
ちゅー
ぶぶ
うわっ姉ちゃん 何すんだよ
他の人にも酔っ払ってこんなことしてねーだろーなー
むにゅ

ら〜いじょ〜ぶ〜〜〜
ゴロゴロ
秋ちゃん以外の男の人と飲みに行ったりしないも〜ん
わ!? たかが缶ビール一本でコレかよ〜

HOTEL SUN PARK

ガーン

ウィーン

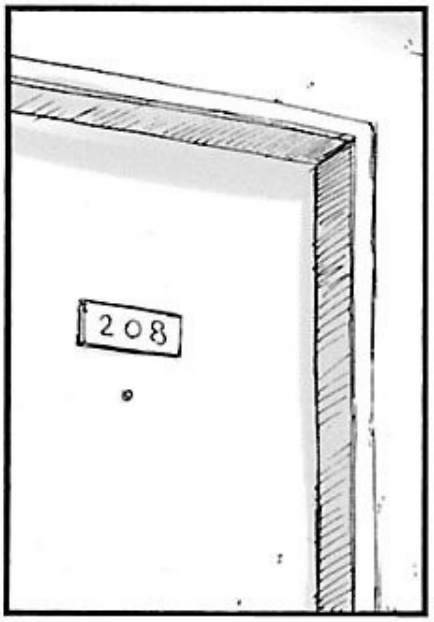
HOTEL SUN PARK

そこのビジネスホテルに入るみたいですよ

…もういい…帰る

ちょっとお兄サマラブホテルじゃないんですし

あきらめるの早すぎです



そんな中途半端なモヤモヤした気持ちのまま

帰っちゃっていいんですか!?

……

ちょうど隣の部屋GETできました

こっちの209号室にお姉サマが…

では失礼して

なにそれ

集音マイクです

無線の

お前…そんなモノまで…

シッ！

…あ！

な なんだよ

やはりお兄サマは聞かない方が良いかも…

ここまで来てそれないだろ

……

どぎまぎ

んあッ
あッ
いやん♡
ガーン

ね…姉ちゃん…
ウ…ウソだ…
しゅーちゃん
しゅうちゃん
秋ちゃん
あの…姉ちゃんが…
HEIGHTS

こ…こんな…
あッ
あん そんなに力強く揉んじゃダメぇ〜〜〜
お願い〜〜〜
早くぅ〜ちょおだぁ〜い
ことを…!!

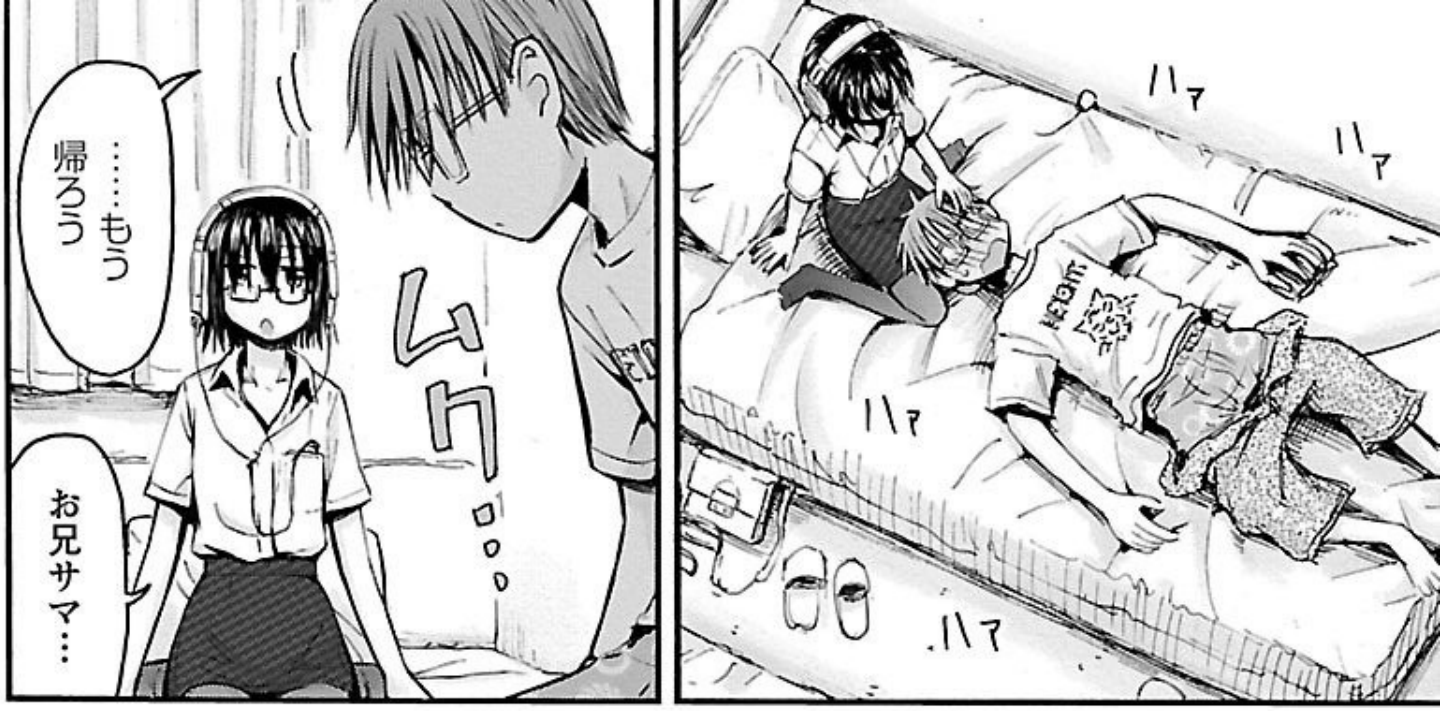
で…でも…
ゴクリ
ギーン
ギーン
あんっ
うう…
スゲー嫌な気分なのに…
リコぉ
キタぁ♡
アソコがギンギンに…
クッソ~~~なんでだよ…
ガチ
ガチ
さわっ
はぁ
もっとぉ
ズボズボしてぇ♡
何すんだ!!
ぬっ
ピト
うわっスイ!
さすっ
ガチ…

お兄サマ…お姉サマをとられてかわいそう
代わりに妹の私が慰めてあげますね
い…いいよ…あ!
あッスゴイ奥までぇ…
アンッ♡もぅ腰が止まんないのぉ
ピク ピク
アレ？でもいつもより硬くなってますよ
もみ もみ
もしかしてお姉サマが他の人としてるの聞いて
いつもより興奮してるんじゃないんですか？
ち ちが…
フリフリ
う…!!
…でもココは
ペロ ペロ
そうは言ってませんけど…
ビク ビク

でもまさかお姉サマがこんなに乱れたHな声を出すなんて…
あッ…
スッゴイ気持ちイイッ
おかしくなっちゃうぅーあッ
私も想像してませんでした…
バ…バカそんなこと言うなよ…
だっていつも明るくてちょっぴりドジな子供っぽい所のある
そう思っていたあのお姉サマがですよ？
やっぱり大人の女性だったんですね
あッ後ろからもぉ♡
あッ
あまりのギャップに
私も少し興奮してしまいました
う…うん
レロレロ
もみもみ

うわっ やっぱりお兄サマ
お姉サマのHな声で
淫らな姿を想像して
興奮してるんですね
あんっ もっとぉ♡
ズバッ
あッ
本当の姉弟なのに
さすがお兄サマ
筋金入りの変態です
もっと激しく突いてぇ♡
ブルンブルン
あッ
ズバッ
ちょ…違う…オレは…
うッ!
じゃコレは
なんなんですか
いつもよりずっと
硬くなってますよ
ビクビク
そ…
それは…
ペロ〜
この私も
ドン引き
です
も…ヤメ
…うッ!?
え!? もしかして
もうイキそう
なんですか?
ズビュ
ブジュルル

ガク
あッ イクッ
あ お姉サマも もう…
イっちゃう
ダ・ダメぇ 中にそのまま
ガク
あ゛ッ
限界みたい ですよ
ガク
せっかくですから お兄サマも一緒に
イッて 下さい
バ…バカ ヤメ…あ！
ビク
ビク
あッ!!
ビクン
ああ
はぁあ！
どくどく
どくどく
ビク


……もう帰ろう
お兄サマ…

チン
うわ――スゴーい
やっぱり秋ちゃんだ――
会いたいなーって思ってたら本当に会えた――
え？ アレ？ なんで!? 隣の部屋にいたはずじゃ…？

でもなんで秋ちゃんこんな所にいるの？

しかもスイちゃんまで一緒にい～～～

いやーえーと……

実はですねお姉サマ…

わッコラスイ!!

キャ――嬉し～秋ちゃんお姉ちゃんに嫉妬してくれたんだ～～～

でも安心してお姉ちゃんは秋ちゃんのモノだよ

ちょ…こんな所で…

スリ

スリ

でもじゃああのイケメンの男は…？

仕事って感じには見えなかったけど？

んちゃー

男の人…？

今日ずっと一緒にいた人のことです

ああ！

ヤダもー秋ちゃん
あの人は女の人よ

☆ー

え!?

ウチの雑誌の漫画家さんで
福岡から東京に来たから
案内してたの

ああ見えて
人妻でお子さん
二人いるのよ

若いのにねー

EIGHTS

じゃあ…隣の部屋の
あの声は…?

あ どうやら一つ
階を間違えてた
みたいです

マペロ☆

あの声はTVの
有料チャンネルの
音でした

よーし今日は
やっぱり
秋ちゃん家に
お泊まりだー♪

おい

HEIGHTS

第34話

ウィーン
BYAKUSENSYA
白仙社
ん～～～ よっしゃ～
雑誌に掲載決まったぁ～～～！
BUTTERFLY
読み切りだけど
画材でも買って帰るか――
ん？
あれ？
松田…？
キョロキョロ

こんな所で会うなんてスゴくね？

ちょっと飯でもおごってやるかー

おーい 松……

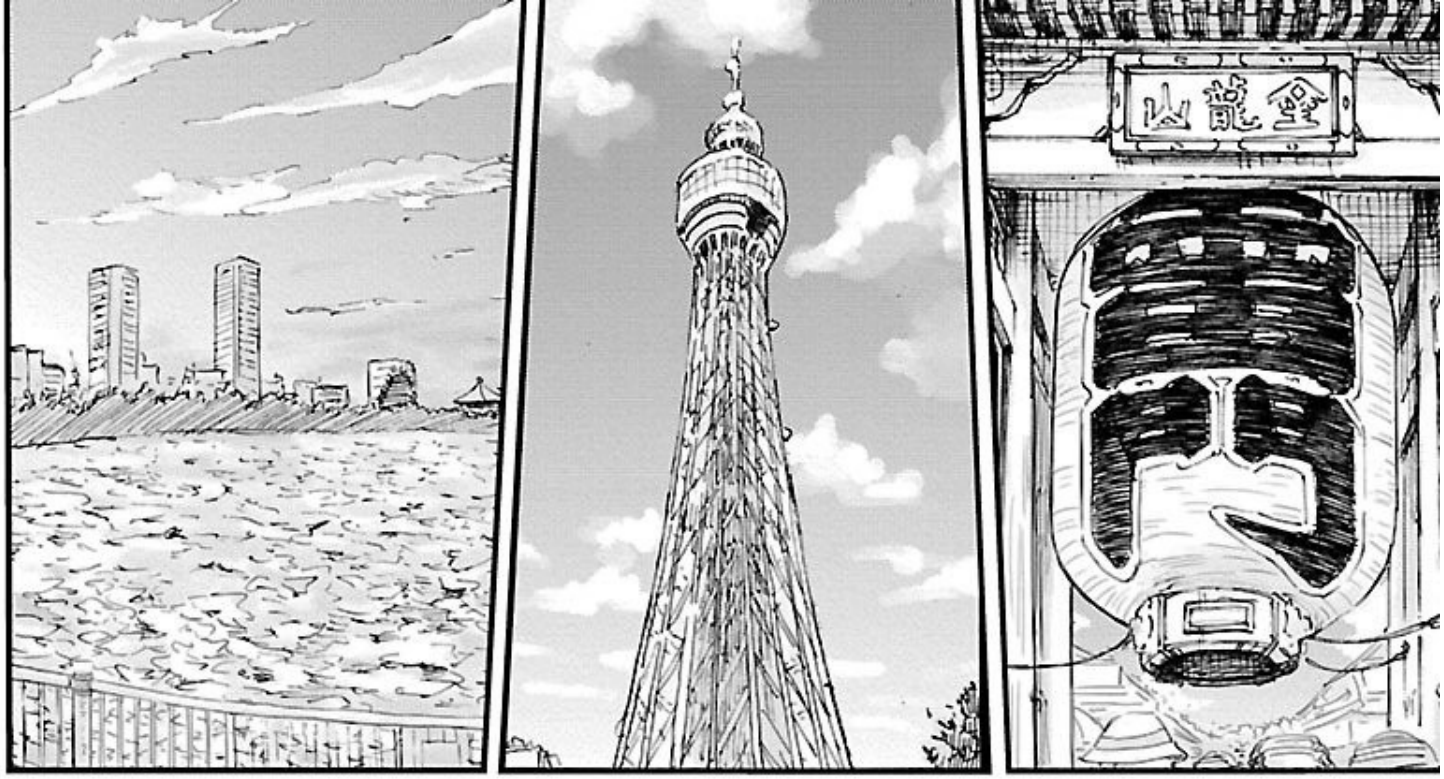
あれはスイちゃん!?

ドキ ドキ ドキ

なんで前に着てた女教師の服？なんかのプレイ？

特別な用事でもあるのかな…？

ちょっとだけ…確かめよう


山龍堂

って！ なんだよコレ!!
おきまりのコース ただのデートじゃん!!
あの… お客さま…？

そもそも なんで私 イライラしてんだ
松田のことなんて 関係ねーし
てくてく
てくてく
バカバカしい どーでもいいじゃん
帰ろ 帰ろ

HOTEL SUN PARK
ウィーン
サンパーク

なになに結局ホテルにしけ込んで そういうことしちゃうわけ!?
あ〜もう！なんなんだよ!!

そりゃーなんとなくわかっちゃいたけどさー
改めて見せつけられると…

……
ぐま

…あ ヒメ？今 都内にいるんだけど…
ちょっと飲みに行かない？

和魚民

まったく！
今の男は
見る目ない
よな！

ドーン

こんないい女 二人も
放っとくなんてさー

うんうん

わかる
わかる

だいたい私みたいな
セクシーで大人な
女性つかまえて

中学生と間違えて補導しようと
するなんて どうかしてる！

まったく いつまで
身分証持ち歩かなきゃ
いけないのよ

もう酒も
飲める
つーの！

そうだ
そうだ

世の中の男の目は
腐ってる！

ついでに私達も
腐ってる！

リアル なんて くそ くらえ

カン パーイ

二次元 サイコー

BL(ボーイズラブ) サイコー

あーん キス していい〜

バカやめろよ こんな所で

チッ

リア充が! 爆発もろ!!

キロ!!

あっれ〜〜〜
松田…君？

え？
ヒメちゃん先生に
あおいさん…？

同じアパートのあおいさんと
専門学校のヒメちゃん先生
せんせい？
え!?
いつも弟がお世話になっております
いえいえ〜
お姉サマ お水買ってきました
おやヒメちゃん先生にあおいさん
あスイちゃん
今からあおちゃん家に行く所なの〜そっちは〜？
でた！
あハイこっちはお姉サマとホテルで会って今から家に帰る所です
そーなんだー
ヒメ ナイス！
なんだー ホテルにはお姉さんに会いに行っただけかー
よかった——
ふ…

って！何ホッとしてんだ私…

か関係ないだろ！

スイちゃんも知り合いなの？

ハイ

皆で海に行きました

え!?

秋ちゃんズルイ～

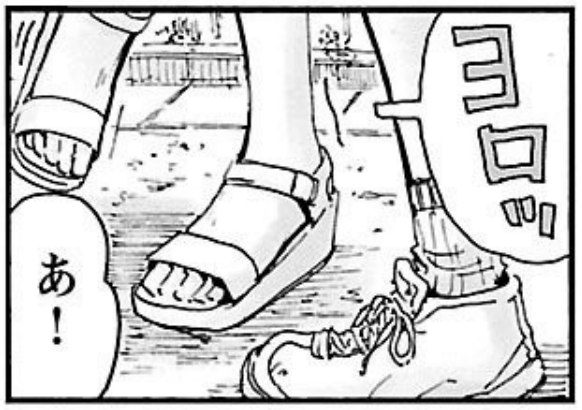
なんでお姉ちゃんも誘ってくれなかったの～

ね姉ちゃんは関係ないだろ

妹もアレだが姉もなかなか…

カッ
大丈夫ですか？あおいさん
あ…うんありがと…

ハァ～
夜風が気持ちいい


コロッ
あ！

コラ！
うわっ
ダメですよ
秋ちゃんは私のモノなんですからとっちゃダメです

ハァーまったく お姉サマのブラコンも 困ったものです

お前も 人のこと 言えないけどなー

つーか こんな姉と 妹がいたんじゃ

松田がダメ男なのも 仕方ないのかも…

…しかしこれは 今夜辺り危険かも しれませんね

えー？ 何が～

お姉サマ 相当 酔ってますし

久しぶりの再会で テンション上がって

ついに姉弟の一線を 超えてしまうかも…

え!?

そ それは教師として見過すわけにはいきません
つっっ
おおう！そうだそうだ
こうなったら私の大人の魅力で…
ツツー
正しい道へ戻してあげなくっちゃ！
へ？
あ〜ん松田く〜〜ん
せんせー酔っちゃったぁ♡
え？
ヒメちゃん先生？
しなっ
あ！ダメです先生と生徒なんですよ
姉と弟よりマシです
こ…これは…
私がなんとかしなくっちゃ！
松田〜私も酔っちゃったぁ〜〜〜♡
ピト
へ？あおいさんまで⁉
あ〜ん 秋ちゃんは私の〜〜〜
うるっ

ゴロ
ゴロ
ゴロ

えーと…
これは一体…

ど…
どうしたら……？

ホラ お姉サマ
アパートに着きましたよ

私はお姉サマを先に
部屋に連れていくので
お兄サマはお二人を
お願いします

ズル
ズル

や～だ～
秋ちゃ～ん

へ？

どぉだ～松田～

私達の大人の魅力は～？

興奮する～？

ぽよん

って！ コラ！ なんで大きくなってないの～!?

そ それは…さっき出したばっかだから…

え!? 姉？ 妹？ それとも両方!?

え!? ち 違います！

その ホテルのAVで（姉だと思ってたケド）

手で…（スイのだけど…）

そしたら これでどぉ？

へ？

スル…

ホラホラ～本物だぞ～
皆の憧れ
ヒメちゃん先生の
あ…大きく
なってきた
ムクムク
生おっぱい
だぞ～～
たぷ
たぷ
…なんでヒメの奴
身体小さいクセに
おっぱい小さい私より
デカいんだよ
くっそー
私だって
のむ～っ
ちゅぱ
ちゅぱ
HEIGHTS
あれから色々ネットで
勉強した知識で…
ぬぎっ
もごっ
うおっ
あおい
さん!?
じゅぽ
じゅぽ
ぷはっ
はう

もみ
もみ
レロ
レロ
しこ
しこ
ペチョ
うあ
くう
んお
…こ…これは…
どうしたら…
あん♡
はみっ
あ！スイ…
なんとかして
ぐっ
って！
おい
おう…！
あおいさん
そんな
奥まで…
くお！
もご
もご
うわ…あおちゃん
スゴイ…大人っぽい
いつの
まに…
はう
イキそ
ぐぽっ
ずにゅ
あ！まだ
ダメェ
うはっ
う…

わ…わたしも
する～
はむっ
ぶちゅ～
プチュ
プチュ
せ…せんせい？
スコ
スコ
す…すごい…二人で…
がぽぐぽ
オレのアソコを…
はぐはぐ
ハアハア
ジワ
先生のアソコがドアップに…
……濡れてる…
プル
プル
ピクン
やん♡
つぷつぷ
くいくい

ま…松田君…ソレぇ
気持ちいい〜〜〜
もっとしてぇ
もがっ
ぼん
ムグ!?
ヒメちゃん
先生の…
お尻…
ビク
ビク
あ…松田君の…吐息が…
熱い…
んぁ
んっ
もぎゅー
あッ
ハフッ
松田のバカ 余計に
硬くしやがって…
ヒメも…すごく
気持ち良さそう…
じゅぽ
ぐぽっ
ぷぷっ
…わ…わたしも
気持ちよく…
なりたい…
くちっ
くちっ

あ・・・
うぉ・・・
あ・・・あおいさんまで・・・!!
ズリ…
ズリ…
ズリュ
ガチ
ガチ
う・・・アソコがこすれて・・・
熱い・・・
う・・・
コス
コス
コス
ハァどうした?松田のアソコもうビクビクして
イキそうじゃねえか
ギンギン
ギンギン
私とヒメのアソコで
そんなに感じてんのか?
グリ
グリ
う・・・あ・・・ハイ・・・スゴク・・・良くて
・・・・・・も・・・もうイキそうです
ぺちゃ
くちょ
グリ
グリ
グリ

わ わたしも
もう…ダメ…
ヒ…ヒメも…
あッ
いくッ！
あッ
ビクッ
イクッ
ああああああぁ
ビクッ
どくん
どぴゅ
どぴゅ
どぴゅ
どぴゅ
ビクッ
ビクッ

チュン
チュン

う…頭 痛い…
ズキ
ズキ
私も…
なんでおおちゃん家に…?

ハイ お水持って来ましたよー
ガチャン
あ スイちゃん ありがとー

あれ? 昨日は確か…松田と松田のお姉さんに会って…
どうしたんだっけ?
えーと…
お二人なら部屋でグッスリ眠ってますよ

あはは- 昨日は飲みすぎちゃったなー
本当にねー 何も覚えてないなー
お酒は ほどほどにね!

何かを思い出しかけた

第355話

ATM部
日本アニメマンガ専門学校
わわわ
くっそ——
課題終わんね——
トン
CALL ME
トン
トン

今まで時間あったのにやって来ない松田が悪いんだろ

そうデース 自業自得デース

何言ってんだ ルコラだって終わってねぇーだろ！

ルコラちゃんはまだ学校来たばっかだから仕方ないだろ

そうデース お前と一緒にすんなデス

だいたいこんなの本気だしゃ一日で終わるだろ

オレはとっくに終わったぜ

え～マジで～!?

オレ無理～自分でマンガ描いてみるまでこんなに面倒だとは思わなかったもんなー

ましてや週刊連載とか絶対ムリ！

確かにどーやったらできるのか想像できねーよなー

週刊連載こなせるゼットで本当スゲー

オレなんかまだ連載始まってもないのに

昨日も徹夜だし……

できた

デース

これでどーデスカ？

お 上手い 結構 描き慣れてるね

ハイ 子供の頃カラ 絵描くの好きデシタ

でもマンガの女の子 ちょっとムズかしいデス

へーどれどれ？

うわっ本当だ 思ってたより うめぇ！

確かにかわいい感じじゃ ないけど…上手いな…

つーかオレより 上なんじゃ……

…アレ？ オレまぁまぁ絵上手い方だと思ってたケド…
もしかして…下手…？
ガーン
じゃあ私提出して帰るデス
え？ 帰るの？
今日はなるべく早く帰しとロゼが……
ガタ
ガタ
ロゼ……？
また明日デス
あ うん また明日～
…………
今日は鹿島もバイトで帰ったし…
松田と二人きり…
イラ
ドキ
ドキ
ドキ
か観音寺！
カバッ
ドキ
な何!?

絵が上手くなる

方法を教えてくれ！

へ？

いや 上手くなるって…

やっぱ沢山描くくらいしか……

ホラ 潰れて
前に出るだろ
むにゅ
う…うん
じーー
ぶるん
バ…てめー何見てんだよ！
ビシィ
イデッ
よく観察しろって言ったのそっちだろぉ
だからってエロイ目で見てんじゃねぇ！
べ 別に観音寺みたいな男女エロい目で見てねぇーし！
誰が男女だ!!
ボカ
ぷく〜
ったくムダにおっぱいデカくしやがって
でもおっぱい柔らかいから結構形変わるんだなぁ
なるほど〜〜
カリ
カリ
CALL ME
観音寺コレでどう…？

あれ？
寝てる…？
すやすや
おーい
男女〜鉄観音〜

…どうやら昨日
あんま寝てないってのは
本当みたいだな…
ふー
……

しかし こうして
大人しくしてれば
すー
すー
結構美人顔
なのに…もったいない…

じー
それに…

むちっ
この肉付きのいいお尻

むにっ
このデカイおっぱい…

ぐにぐに

くっそー観音寺のクセに〜
とりあえず今の内にガン見しとこ
うお〜やっぱスゲ〜柔らかそ〜
くう〜やっぱ触りてぇ〜
わきわき

でもそんなことしてバレたら……
殺されるな…

ででもちょっとだけ…
絶対バレないくらいに…
ハァ ハァ
どの位柔らかいのか…これも絵の為 勉強の為…
ハァ ハァ

そぉ〜

つんつん
ぽよん ぽよん
うぉースゲー弾力
くりくり
…てっぺんは
この辺かなぁ〜〜?
くり
そして山を
下って…
ツー
谷の方へ…
うわ…パンツ
見えてる…
グッ
お 洞窟
発見!
やっぱり進入は
難しいな…
くに
くに
くに
この辺に中に入る
スイッチが…
ピクン

……

くっそー松田のやつ…

すぐ調子にのりやがって…

まったくオチオチうたた寝もできねー

ヤッベ興奮してきた

人の身体でナニ好き勝手遊んでんだ

このヘンタイヤロー

ん…

今度は雪のとけた山肌に～

バカヤロまだ…

ペロン

プルン

そろそろビックリさせて半殺しに…

んん？

スイちゃん!?

お兄サマ楽しそうなことしてますね

スイ！

いや これは…そのリアルな人間観察を…

へ――

ブブッ松田の奴

憧れの雪菜ちゃんに軽蔑されてやんの

ダメですよお兄サマ

もっとこう

直接的に緩急をつけて

もみ もみ

そんな触り方じゃ

へ？

大胆に攻めてあげないと

ん…ヤバ…

声が…もれ…る…

ぐにぐに

ババカ
スイ…
そんなことしたら
観音寺起きちゃうだろー!
しかしホントに
けしからん
オッパイですね
たぷ
たぷ
観音寺さん
もうとっくに
起きて
ますよ
ビクッ
何言ってるん
ですか
お兄サマ
え!?
サーー
じゃあ
なんで…!?
さあ…
観音寺さん も
まんざらでも
なかった…とか?
オ オレは
別に!!
うわ!

ピクン
え〜〜 でも
ここはもう
こんなに…
スルッ
ちょ…
あ…!
ポロン
ダメぇスイちゃん…
ピクピク
ぴちゃ
ぴちゃ
むぎゅ〜
ソコは…
ン…!!
ダメぇ
あ
うおお…
あの観音寺が
女っぽく…
フン
フン
フン
フン
オ…オレも
コラ…
松田…!
ぶちゅ
もぎゅ

この 松田…お前
何してるのか
わかってんのか?
んっ
レロ
レロ
もぎゅ
バカ
ぐに
んんっ
はうっ
ヤ…
ヤバ…
んっ…
はみっ
余計に敏感になって…ッ!
くんっ
くあッ
ぎゅい
もにゅ
うお〜やっぱ
この爆乳
スゲー!
さっきから焦らされてるみたいで…ガマンしてたから……
ぐいっ
バカヤロ
もっと
優しく

ババカてめぇ
何やって…
ぶじゅるる
スリ
スリ
スリ
スリ
そんな熱くて硬いモノ
オレに押しあてんじゃねぇ!
きゅううう
ゴゴメン…オレ
もう…ガマンできない
コスコス
コスッ
ぐにっ
ババカ
スイちゃんもいる
のに 目の前で…
う…コラ…ダメ
そんな動かす…な…
ん!?
んんっ
ぐにゅ
ビクン
もも もう
イク…

あはぁ
どぴゅ
ビク
んあぁあああ！
ビクビクビク
ハァハァ
ハァ
ハァ
ん…
お兄サマ この手はもっとこうした方が

……

うるさいなぁ こっちの方が 描き易いんだよ

難しいからって 逃げてたら いつまで経っても 描けませんよ

あ 観音寺さん 起きましたか

え…ううん

? どうか しました?

え? アレ? だってさっき あんなこと…

まだ少し 寝ぼけて ます?

え?

…も もしかして さっきの…夢?

え…!? でも どこから

もしかして この頃忙しくて 色々たまってた から?

うわぁぁ

オレってば なんて恥ずかしい 夢を〜〜〜

あの どうかしたん ですか? 観音寺さん

……

妹!アンドロイド

Sister! Android Presented by Shiki Tanisawa

第36話

日本アニメマンガ専門学校
日本アニメマンガ専門学校
ATM部
はあ
どうしたの？ ルコラちゃん溜息なんかついて
あれからアキちゃん 部室来ないデス
アキちゃん？
ジロ
お前はサボッてタカラ知らなくて当然デース！

アキちゃんは この部室ノ掃除を手伝ってくれタいい人デース！

私は声優科のアキです

今日は見学に来ましたヨロシクね♡

ああ！

オレのことじゃん…

※コミックス第４巻収録、第31話参照。

そういや鹿島バイト先のメイド喫茶で人探してるって言ってたよな

え？ うん 葵さんが本業で忙しくて誰か臨時で

？

いないかって言われたんだけど…

いや オレも忙しくて
手伝いに行けないからさ
ルコラちゃん どうかなって

ルコラちゃん
メイド服スゲー
似合うだろうし

めいどきっサ？

それにメイド喫茶には
たぶんアキちゃんも
いるし

え!?

ちょ～観音寺
何勝手なこと
言ってんだよ

いいじゃん 鹿島の
メイド姿拝めるし

アキちゃんも
そこでバイト
してるデスカ？

あーえと…

前に一度手伝って
もらったことがあって…

チラ…

私も…また一緒に
手伝ってもらえたら
嬉しい…けど…

…あ うん

たぶんアキちゃん
いるんじゃないかな

maid cafe ありす
OPEN
カラン
カラン
いらっしゃいませ
ご主人サマ
ルコラ
うおおお レベル高ぇ！
ご注文決まりましタラ お呼び下さい デス
マジ アリスたん 降臨！
外国人さんだ…
は…はい…
ルコラちゃん ちゃんと笑顔 できてたよ！
でも本当のメイド こんなに ニコニコしてないデス
しきり

いつも こんな目で

怒ると怖いデス

アレ？ もしかしてルコラちゃん家メイドさんいる？

ところでアキちゃんはウェイトレスしないデス？

え…えーとアキちゃんは事情があって…

アキちゃんは極度の人見知りなのです

ききき

アンドロイド!!

アキ

なので もはや親友である私がいないと 外で喋ることもできないのです

え!? そうだったですカ？

なので私達は二人セットなのです

う…うん…

じゃ…じゃあATM部に入ってもらったら……

ガヘン

ミッコリ

もれなく私もついてきます

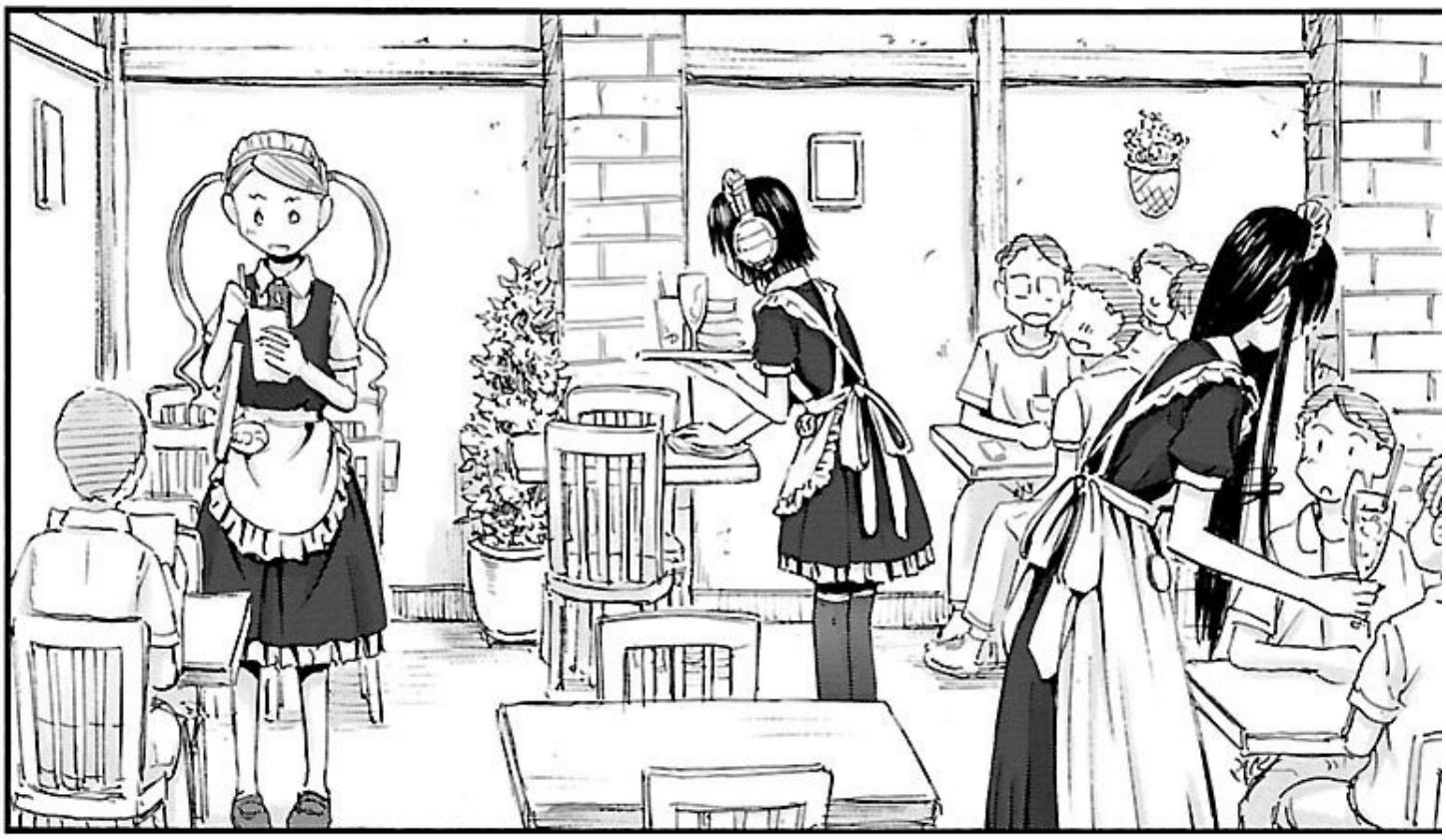
そうデース！

アンドロイドがいなくても話せるくらい私がアキちゃんの親友になればイイデス！

そしたらアキちゃん私と二人きりでも喋れるデス！

あ うん 私もそうなれたら嬉しいな

物理的にムリだけど…



やっぱりスゴイね スイちゃん
え？ そう？

そうだよ 物覚え早いし テキパキしてて…
その上あの声優の 水城雪菜ちゃんだもん
スイ

本当…敵わないなぁ…
妹で良かった…

え？
え？
アキ

あ 私レジ打ち してくるね
あ… うん…

何したんです？ お兄サマ
鹿島さん 顔 赤くしてましたけど
え？
スイ

もしかして鹿島さんのパンツはいてるのバレちゃいました？

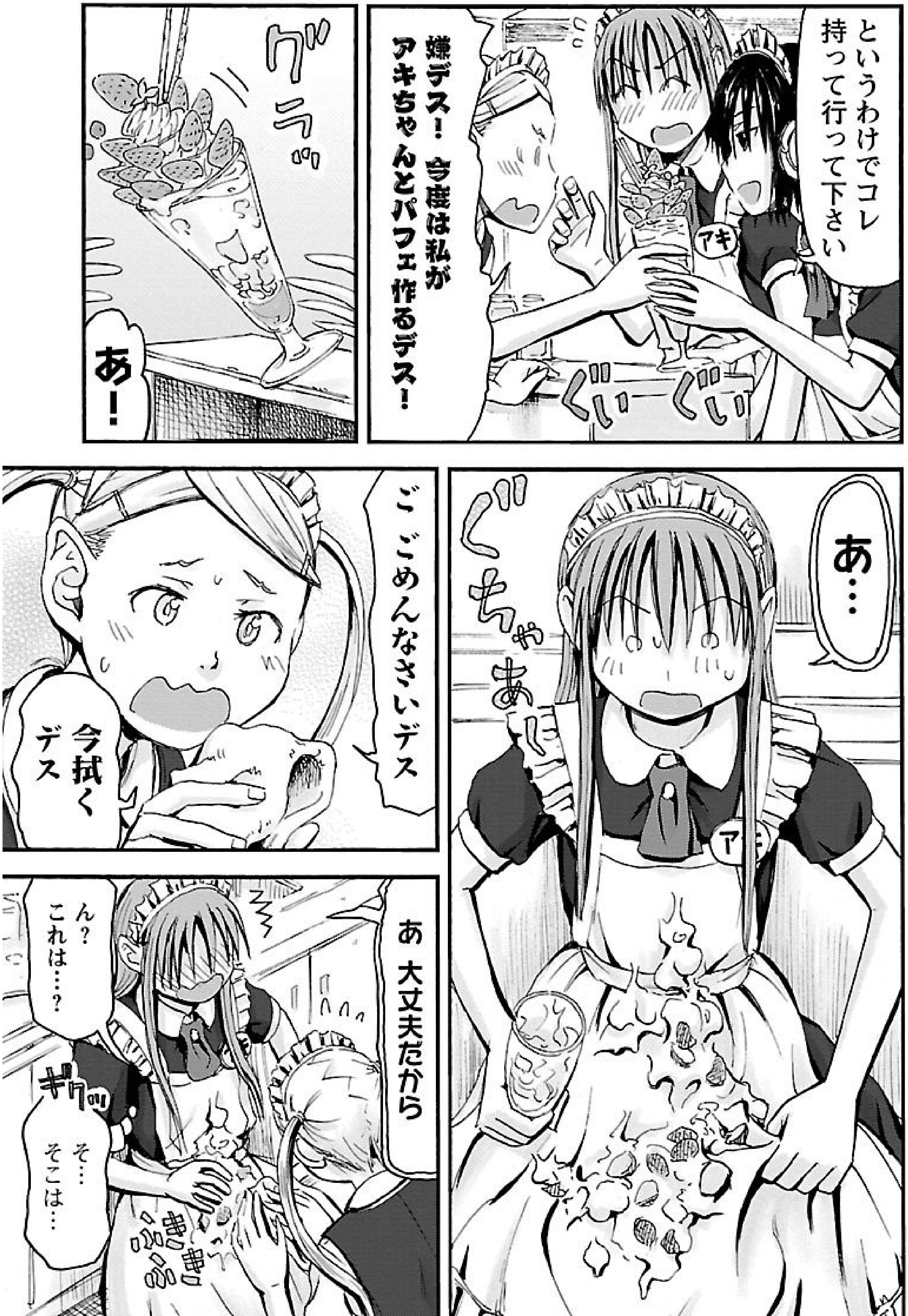
ち ちげーよ！

でも バレたらどうしようってドキドキ興奮してたんじゃないですか？

そ…そんなわけないだろ…

じゃあ この大きくふくらんでるモノは何ですか？

そこ…やめ…お前がそんな風にしたんだろ



というわけで
持って行って下さい
コレ
アキ
嫌デス！　今度は私が
アキちゃんとパフェ作るデス！
ぐいーぐい
グラッ
あー！
あ…
ぐちゃあ
アキ
ご ごめんなさいデス
今拭くデス
あ 大丈夫だから
ん？
これは…？
ギクッ
そ…
そこは…
ふきふき

またポケットに雑巾入ってるデス？
へ？
ちょ コレ…どーすんだよスイ…

…実はあの時はスイさんにごまかしてもらったんですけど
って！ ああなったのお前のせいだろ！
本当はルコラさんに隠してたコトがあるんです
え!?

実は私…女のコなのに
股間が男の人のように腫れてしまう病気なんです
もっこり
え!?

バ…バカ
いくらなんでもこんな嘘信じるわけないだろ

そ…そんな病気が…

あったナンテ！知らなかったデス

信じた――!!

まぁ身体に悪影響はないんですけど…

ちゅう〜

それは…もう こうなってしまっては患部を触ったり舐めたり…

気持ち良くスッキリさせて鎮めてあげるしかないんです

むにっ

スイちゃん いつもごめんね…

きゅ きゅ

や…やっぱり私もヤルデス！
バッ
私のせいでもありますカラ！
え!?
にぎっ
こ…こうすればいいですカ？
ビクビク
…スゴイ腫れて熱くなってるデス
口で…舐めたりくわえたりとかして
気持ちよくさせて下さい
ペロペロ
う…
もじもじ
じゅぽじゅぽ
もみもみ

ピクピク

コレ気持ちいいデス？

ずぼっ ずぢゅ もぎゅ もにゅ

う…うん…

あの…さっきの注文なんだけど…

ゲッ!? 鹿島さん…!?

あ パフェこぼしちゃって… 今 ルコラちゃんが着替え取りに…

ぐぐっ

もぞもぞ

え!? 大変 じゃあ私が パフェ作ろうか？

ちょ…コラ…ルコラ 今は…ストップ

あ こっちは大丈夫ですから

今パフェ作り直したので

持って行ってもらえますか？

ずぢゅー

あうん こっちは
まかせて！

どき
どき どき
ぐっ

ホラ
行きましたよ

ぷぱ

ブルン

ビクン
ビクン

凄くドキドキして
変な気分になって
しまいマシタ

ガ4
ガ4

ピチャ
ピチャ

それにアキちゃんの
前より大きく腫れた
気がするデス

スリ
スリ

それでいいんですよ

気持ちイイ
証拠です

スル

むぎゅ むぎゅ

あ これなら
もう少しですよ

三

え？ なんで私の服
脱がせるデス？

その方がより
アキちゃんが興奮して
くちゅ
くちっ
早く出るからですよ
はみっ
ん…
出るって
何がデス？
あ ソコは
だめデス
ホラ お口がお留守に
なってますよ
ぬちっ くちっ
んはっ
あふっ
んぐ
んご
ずちゃ
んふっ
ぴちゃ
ぬちゃ

も…もう…ダメ…
い…いくっ！
あッ
んんっ！？
どくん
んあっ！？
どぴゅ
ぴゅ
んはっ
はっ
はぁ
はぁぁ
ビュル
ビュル
ビュルル

コレ…何デス？
アキちゃん 本当に大丈夫デスカ？
…えーと まぁ母乳みたいなモノですから大丈夫です
……

おつかれさま～

あの…アキちゃん 実は私にも秘密あるデス
え？
…実は私… 未来から来タ
未来人なのデース
秘密じゃねーじゃん

…え？
あ
へーそうなんだすごーい
…私も何かキャラ付けした方がいいのかな…？
スイちゃんもアンドロイド設定だし…
いや そのままでお願いします

第37話

SPORTS
ブブブ
どうしたんですか お兄サマ？
家の中でまで不審な行動
とらないで下さい
べ 別に何でも…
……と ところで
明日…家にいる？
明日 用事で
いませんケド

ふ ふーん そっか
明日いないか〜〜〜
そっかぁ〜〜〜
でへへ

なんですか？
ニヤニヤして
気持ち悪い…

翌日——

ピンポーン

ハイ…
どなた…？
ガチャ

お兄ちゃ〜ん
久しぶり〜〜〜!!
うわっ!?

ありゃ？
むくっ

…えーと
…誰？

お前こそ誰〜!?

あ あのごめんなさい 私は立花湯香(たちばなゆか)です

えーと お兄ちゃんの妹さん…ですか?

お兄ちゃん…?

あ えと… 松田秋(まつだしゅう)さんです

松田…また お前か……

?

えーと 松田なら上の204号室だけど…

え!? あ

そうなんですか!? 失礼しました!!

すいません ありがとう ございました
…あんなかわいらしい子が 松田に一体何の用が…
「お兄ちゃん」とか言ってたけど…
だいたい松田 どこがいいんだか……
いやいやいや 私は関係ないし
………
お兄ちゃ〜ん 久しぶりー!!
うわっ
…また やってる…
って!
まさかアイツ あんな幼い娘にまで手出してんのか!?
それって犯罪じゃね!?

キョロ
キョロ
へー ここが
お兄ちゃんのお部屋なんだ――

ガイチャ
くぅ～ やっぱかわいいな
湯香ちゃん

まさかまた会えるとは
スイに内緒でメール
やりとり
してて良かったぁ

ハイどーぞ
コト

いただきまーす
ゴクゴク
ゴク

あれ？ おいしー
東京のお水
まずいって
聞いてたけど
あ それ
買ったやつ

え!? 本当にお水買うんですか!?
都市伝説だと思ってました
まー確かにあそこの神社のお水おいしかったもんなー
無料だよ
じょぼ
じょぼ

※コミックス第２巻収録、第14話参照。

え？ いやぁソコがいいんじゃんスレてないっていうか
素朴でピュアな感じがして湯香ちゃんにピッタリ！
そ…そうですか？

でも修学旅行中に抜け出して大丈夫だったの？ 叱られない？

あ ハイ 本当のお兄ちゃんが東京にいるって皆知ってるから協力してくれて

そういえばお兄さん東京にいるなら会わなくていいの？

いいんです！

ゴクゴク

仕事だし会えるわけないだろって

とんー。

どーせ東京で彼女でも作ってイチャイチャしてるんです

そういえば妹さんは今日いないんですか？

え!? あ うん 今日はちょっと出掛けてて…

そっかー 残念 色々お話ししてみたかったのに…

いやいや スイがいたら大変なことになるから

あーなんですかその顔！

もしかしてお兄ちゃんも妹さんのこと嫌いなんですか!?

え!? いや別に湯香ちゃんのお兄さんも嫌ってるわけじゃ…

じゃあ好きなんですかー!?
え!?
ま まぁどっちかと言えば一応オレのこと考えて色々してくれてるみたいだし…
ちょっと…イヤ…かなり?イタズラが過ぎる所もあるけど…
まぁけっこうかわいい所あるし…
DANGER
…それにスイ…妹が来る前よりも
なんだかんだ色々あるけど今の方が楽しいかな
パアアア
?
アレ? なんで湯香ちゃんがそんなに嬉しそうなの?
DANGER

そ それはやっぱり妹想いのお兄ちゃんがいてくれて

嬉しいからに決まってるじゃないですか！

そ そうなんだ

えへへ

な なに？どうしたの？

湯香も

そんな妹想いのお兄ちゃんが

大好きだよ！

ぎゅーん

さっきの…
あおいさん!?
DREAM UP

ゆ…湯香ちゃん…
どきどき
どき

コラー松田ー!!
どっきーん
あ
NGER

やっぱりお前こんな子にまで手出してんのか!?
え!? いやそんなことは
(少しあるけど…)
…ていうか…いつからそこに…

いーい! あなたもだまされちゃダメよ!
コイツは女をとっかえひっかえするような奴なんだから!

…あの もしかして あなたもその一人 なんですか？
え!?
いや なんで… 私は別に…
ごにょ ごにょ
いや…まてよ
この娘がだまされていることに気付けばいいんだし！
そ そうです！
私は松田君と付き合っているんです！
DANGER
え!?

ピト

ちょ…あおいさん何を…？

そういうわけだから子供はあきらめて帰りなさい

えーでもー本当に付き合ってるんですか？

お兄ちゃんはそんな感じじゃないみたいですけど…

本当です！

じゃあ今キスとかできます？

も もちろんそれくらい…

え…？あおいさん…？

…ってアレ…？

もしかして…松田とキスするの初めてじゃ…？

ドキ

ドキ

ドキ

こ…これが…私のファーストキッス…

ぶちゅー

ちょ～～何やってんの!?

やっぱりお兄ちゃんのこと渡せません

何言ってんの 子供が大人の色香に敵うわけないでしょ

帰りなさい

ばっ
ホラぁ松田～
そんな子供
ほぉっておいて
二人で
いいこと
しましょ～♡
うわぁぁ～ で でも
これは演技 演技だし
この子を助ける為～!!
のし
ホラぁこういうこと
して欲しいんでしょ?
さすさす
あ…あおいさん…
う…前よりまた
上手くなってる…
う…そこは…
にぎっ
おお兄
ちゃん…
う…
そうそう
子供は早く
あきらめて
ペロ
ペロ

湯香だって もう子供じゃないもん！

いっ!?

ぬぎぎ

それにおっぱいの大きさ 湯香と変わらないし

あ…

じ…実はお尻の方が自信あるんだよね

ぷりん♥

うぉ 確かにいいお尻してるな…

すり

すり

ん…

コラ…

ピクピク

調子にのって…

そんなに触る…な…

んふっ

ゆ 湯香だって…
負けないもん
ぷりん
うわ
確かに湯香ちゃんのお尻も…いい…
ん…お兄ちゃん触り方いやらしい…
あ コラ 私の方がいいよな
ん…そこ
ピク ピク
はぅ
湯香の方がいいよねお兄ちゃん
ピク
う…どっちも捨て難いお尻…
あッ
すり
あん
さわ
さわ
すり

わぁスゴイ
お兄ちゃんのこんなに
大きくなってる

あぐっ

あ…コラ
そんなの
触っちゃ…

うわ
ガチガチ

あう…そ それは…

うぐ…

コス
コス

…松田 私達のお尻で
こんなに興奮してるんだ…

じゃあ お尻で
スリスリして
あげるね

はう!?

スリ

わ…
わたしも

うお〜〜〜

こ これは…

スリ
スリ

ガチ ガチ

わぁ〜 スゴーイ お兄ちゃんの
ぐりんぐりん
私達の お尻の間で 暴れてる〜〜〜
ちょ…コレ…何か後ろから
突かれてる みたいで…
ヤバ…あッ
ズリッ
ズリッ
ズリッ
もーダメだよ ホラ
大好きなお尻の割れ目に 挟んであげるね
ぐにぐに
うわ〜
う…
あ
お兄ちゃんも気持ち良くて 腰が動いちゃってる〜
パンパン
パン
…あッ!?
そっちは… ダメッー!
あんッ
ズルッ
ズボッ

私のアソコに熱いモノが当たって……
プル
プル
プル
プル
んく
ガクガク
こすれてる…
あッ 気持ちいい…
あふっ
ダメッ…も…ヤバイ〜
んふっ…あ イッちゃう…

お兄ちゃん 気持ち良さそう…
う…うん
も…もう…
うぐ…ダメだ…で…出る…!
どくんっ
うあッ!!
どぴゅ
ぐあッ
きゃあ!!
どぷっ
あッ!! あああ!!
どぷぴゅ

しばらくして湯香ちゃんは修学旅行に戻り

またねー お兄ちゃん お姉ちゃ～ん

う…また やってしまった

夜…スイが帰ってきた

ガチャン

ただいま戻りました お兄サマ

チラ チラ

…な なんだよ 何かいいことでもあった？

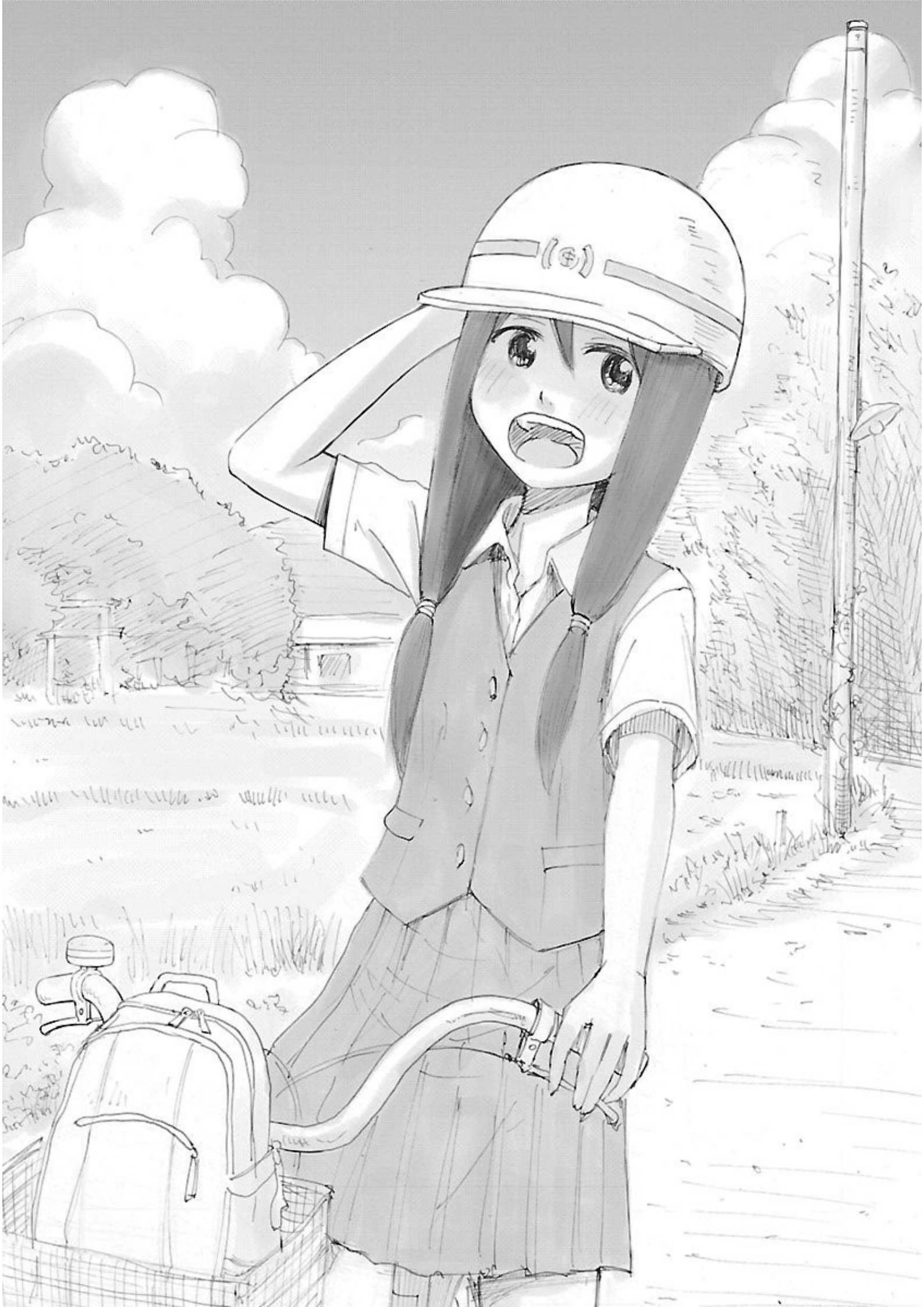
いえ… 別に…

じゃあなんでニヤニヤしてんの？ …恐いんだけど…

また何か企んでる？

妹!アンドロイド

Sister! Android Presented by Shiki Tanisawa



第38話

うわーん スイ〜
観音寺にメガネ壊されたー
お、とゴメ…
転んでちょっと
おっぱい
触っちゃった
だけなのに〜
もみっ
またですか お兄サマ
ひょい
いつものことじゃないですか
いちいち騒がないで下さい
メガネはオレの
身体の一部なの!
メガネ無しで帰ってくんのだって
大変だったんだぞ!
うう…仕方ない
えーとスペアの
メガネ
メガネ
あれ?
どこだ?

仕方ないですねー
お兄サマが探しているのは…
この金のメガネですか？
それともこの銀のメガネですか？
そんなハデなメガネつけられねーよ…
てってれてってれー
素直なお兄サマにはこのカッコ良く見えるメガネを差し上げましょう
えー何だよコレ
あ でも度はあってるな
仕方ない直るまでコレ使うかー
うわーそんなカッコ良いメガネかけたらモテモテになっちゃいますねー
え？ マジで!? そうかな…？

本アニメマンガ専門学
ふぁ～～～
お早う
おはよ
お早よう
ん!?

お前誰デス!?

フッ

勿論 松田だけど

何か？

何か光って見えるデス

細部じゃなくて全体から描いて下さいねー

サラ
サラ
サラ
ミ
ちょっと松田君何ふざけているんですか!?
いつも適当にやって少しは真剣に…
え!?
いつもよりちゃんと描けてる…
あれ？本当だ
ザワザワ
松田ってこんなに上手かったっけ？

ま 松田君!? 急にどうしちゃったの!?
いえ
これもヒメちゃん先生の素晴らしい指導の賜物ですよ
松田君!?
……
いいですかー
なぜ この男が赤い洗面器をかぶっていたのか？ オチの四コマ目を考えて下さい
プル
プル
ま 松田君 素晴らしい！ こんなオチがあるなんて!!
ハーイ では先日皆さんが創ったキャラクターを
動かしてみて下さい
オッフ！ なんてこと!? 先日見た時はまるで魅力を感じなかったのに
まさかこんなにイキイキとしたキャラになるなんて——

キャースゴーイ松田君ー
今のウチにサインしてー——!!
ポロッ
あ！
コロコロコロ
クル
クル
クル
スチャッ
さぁどうぞ　お嬢さん
キャーー
…これってやっぱオレがメガネ壊したせい…？
ガヤ
ガヤ

もぐもぐ

ぱくぱく

ありしーデス

やはり鹿島さんのお弁当は最高だ

素敵なお嫁さんになるな

え？ありがとう

なやっぱり今日の松田 変だろ？

え？ そう？ いつもと変わらないと思うけど…

え!? いやいやいつもこんなじゃないだろ？

あ！確かに

メガネが新しくなってる

いや…それはそうだけどそこじゃ……

ル…ルコラは変だと思うだろ？

ハイ変デス

だよな！

でもいつもの方がもっと変デス

何か問題デス？

え…あうんもっともだ…

ぐいっ

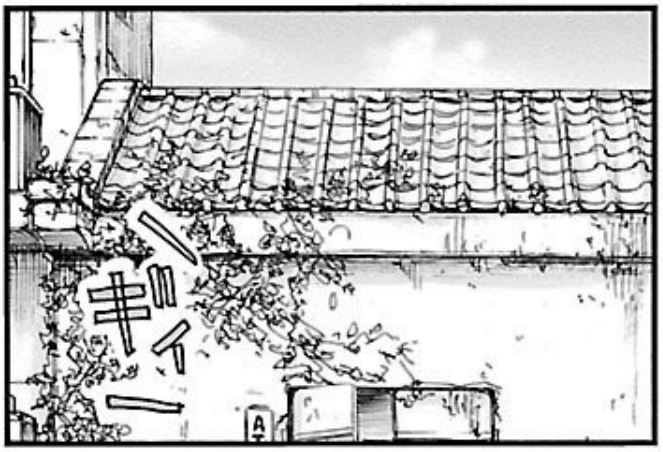
ちょっと来い！

なんだい観音寺さんもう授業始まるよ

いいから来いつーの！

そんな強引にしなくとも綺麗な女の子の誘いを断ったりしないよ

やっぱコイツ…どーにかしねーと



おや 観音寺さんにお兄サマ

お早いですね

あれ？ スイちゃん？

おお！ 我が愛しの妹よ

うわ——

そうきましたかー

なんか松田が変になっちゃってさ――

ファサ

確かにキモイですねお兄サマ

ダメだぞ妹よお兄ちゃんのことキモイだなんて

今朝ちょっと変だったので様子を見に来て正解でした

ホッ 良かったー

?

いやー鹿島はいつも通りだって言うし ルコラはこっちの方がいいって言うし

オレが変なのかと…

でも他の人にしてみたらこの方がいいかもですね

観音寺さんは何故いつものダメお兄サマの方がいいんですか？

え？ そ そりゃあー こんなきれいな松田は オレの知ってる松田じゃ ねぇーし

その…からかいがいが ないだろ？

くぁっ

確かに

お兄サマ 子供の頃から 影響されやすかった ですからねー

よく ああやって 別人になりきって ました

しかも本人は その間のこと

YA!

ほとんど覚えて ないんですから

ちょ ちょっと待った！

子供の頃って 二人は 声優と馴じみのファンじゃ なかったの!?

実はお兄サマと私は子供の頃からの知り合いなんです

え!?

お兄サマはこのことも忘れてるみたいなんですけど

内緒ですけど

どきーん

いじわる子猫ちゃん

ハイ お兄サマ メガネどーぞ

!? 服なんか脱いで何をするつもり…

ナニって…わかってますよね お兄サマ

そぉ

ココも期待して…もう こんなにふくらんでいるじゃないですか

ダ ダメだぞ 女の子が好きでもない男とそんなことしちゃあ

なら大丈夫です 私はお兄サマのこと好きですから

オ…オレも問題ない

でん

え!? そんなわけ……

う…うるさい

だ だから…オレ…私達といいことしよ♡

うぷっ!?

ぐ…こ…これは恥ずかしい…

色仕掛け〜!?

ハイ 要はお兄サマの本性をさらけ出せばいいんですから

でも…それは…ちょっと…

もじもじ

大丈夫です お兄サマ 今のこと覚えてませんから

……って言ってたし…

パチン

ぷるん

ホ…ホラ

お前の好きにしていいんだぜ

うおっ!?

ばいーん

あ でも お兄サマ 手が使えないんでしたね

では お口で どうぞ

んぐ!?

じゅぽ

ふが

ふご

ぎゅむ

ん…

コラバカ そんな 激しく…吸っちゃ…

ちゅぽ

ちゅぽ

んっ!? 噛むな!

乳首伸びちゃうだろ

ぷはっ

びくん

ぢゅぽん

くっ…好き勝手しやがって…

今度はこっちの番だからな

おう!?

ぎゅむ

ハァ ハァ ハァ

ピクピク

ダラ〜

うわーすごい見えなくなっちゃいましたよー

うはっ

う…あ!

それ…ヤバイ…

にゅむ

にゅむ

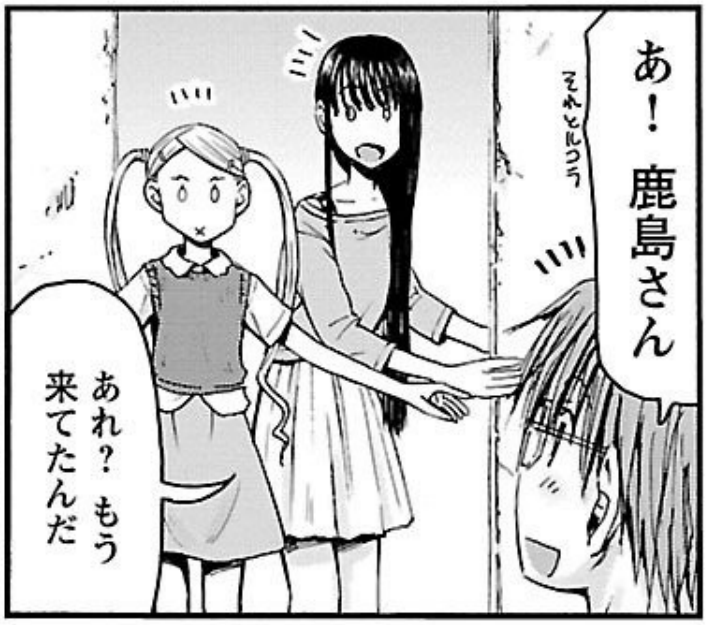
んく
じゅぽ
じゅぷ
くはっ
あふっ
んふっ
くちゅくちゅ
すごい…腰が浮いて
…ビクビクしてる…
じゅん
コレ…イキそう
なんだ…ろ？
ズリズリ
ガクガク

ん…
ホラ
イケよ
ちゅぽ
ちゅぽ
じゅぽ
じゅぽ
んッ
イグ!!!?
どんっ
んはっ
どぴゅ
はぁぁ
ぁぁぁ!!
どぴゅ
どぴゅ

ATM部
カチャン

スッ

ハァ
ハァ
ハァ
ハァ


あ！ 鹿島さん
そんとんつう
あれ？ もう来てたんだ

ドキドキ
午後の授業サボったデス
実は今日ずっと寝ぼけてて昼寝したらスッキリした

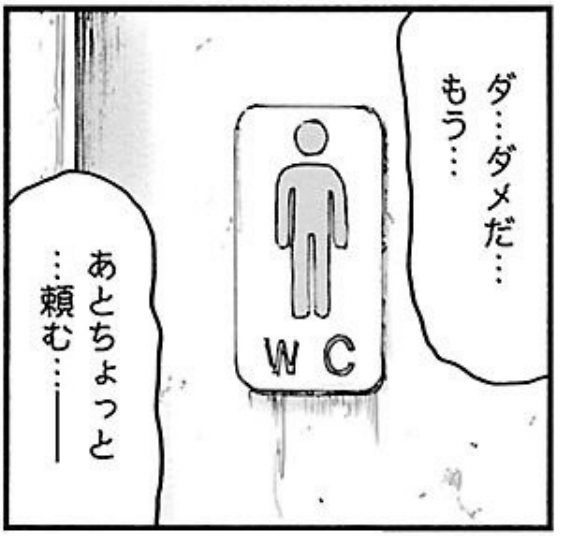
あれ？ 元に戻ったデス？
あ ホントだ！

いつものメガネに戻ってる
あ スイが直ったやつ届けてくれたんだ
そこじゃないデス

第39話

日本アニメマンガ専門学校
日本アニメマンガ
専門学校

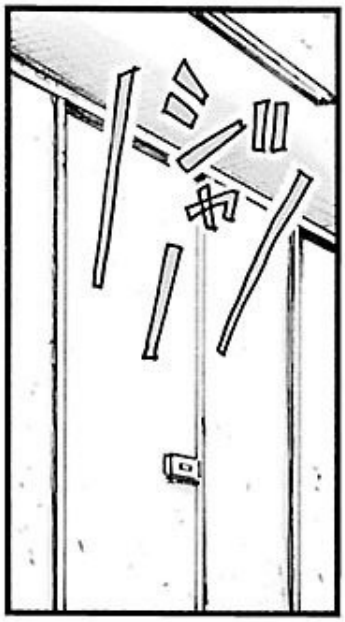
うう…漏れる
漏れる〜〜〜
くそーなんで
よりによって近くの
トイレ塞がってんだよ
たしかこっちに一つ…


ダ…ダメだ…
もう…
WC
あとちょっと
…頼む……

やった！空いてた！
ガチャ ガチャ
急げ
急げ
くっそ
なかなか
外れねー

やった！あ…！

で…でちゃった…



ああ…やってしまいましたかー
スイー！
本当に仕方ないですねー
ヒラ
ヒラ
ビニール袋と…
おさすがスイ！
てててれってってれー
パンツ〜〜〜
え？ コレ スイのパンツじゃん
私がお兄サマのパンツ持ち歩いているわけないじゃないですか
いやー流石にこれはちょっと…
ほほう 鹿島さんのパンツは はけても私のパンツは はけないと…
う…

わかったよ はけばいいんだろ はけば…
ドキ
ドキ
…ん？ なんか 生温かいんですけど…
SURPRISE
ほっこり
ハイ 脱ぎたて ホカホカです
ガチャ
お兄サマは そちらの方が お好みかと
そりゃあ まあ…
てことはお前 今 ノーパン!?
そんなわけないじゃ ないですか
安心して下さい はいてますよ
ウソつけ!!

まぁ 見えなければ どっちでもいいじゃ ないですか
ホラ 部活 行きます よ
えーお前まで 来なくていいよー
いいじゃ ないですかー
く…見えそで 見えない…
それに…スイのパンツ 小さくて はき心地悪くて 落ち着かないし…
もじ
もじ
あ!
ビュ
ブワ
うおっ!?

今日は風が強いですねー

しかもここ屋上ですし

ドキドキ

で？ 見えました？

いや…一瞬で…

残念でした

べっ

べ 別に残念じゃねぇ――し！

ATM部

チラ
チラ
くっそー結局はいてるのか
はいてないのか…気になる…
ちょっと
そっちの番デス!
あ ゴメン
ズッ
あの ここ爪切りって
あります?
あ オレ
持ってる
足のささくれ
気になって…
……
チラ
チラ
ソコのオレの
カバンに…
あ コレですね
くいっ
えーと
ガサ
ゴソ
うおっ!?
あ ありました
ぐぐっ
見えそう

ちょっとまた手止まってマス
え!? あ！角とられてる！

スル
スル
スル

ススッ

うわっ
惜しい！

パチ
パチ

ぺろっ
これでトドメデス！
ビシ
あ！
うおっ!? 負けてる!?
自慢してたわりに弱すぎデス
もう一回！
う…スイのせいで全然集中できなかった…
そのあともスイの嫌がらせ？
は続き…
く…これも見えない…
コロコロ

ごめん 今 そっちに 消しゴム転がって いかなかった？
あ 今 お兄サマの方に 転がって いきました
えーしょーが ねーなー
どこだ よ～～～
キョロキョロ
机の下です
ひょい
ヒラヒラ

ニヤ
ニヤ

いえいえ

見えました？

くっ…暗くて良く見えない…

あ すいません
ここにありました

ハイ
どーぞ

ありがと

結局ルコラさんに
全敗でしたね
お兄サマ

お前の
せいだろ

高田駅
TAKADA EKI

え――
なんで私のせいなんですかー
お兄サマ
そ…それは…

ぐおっ

ガタン
ガタン
今日は電車
混んでますね

ドカ
ドカ
空いてる
ドアから――

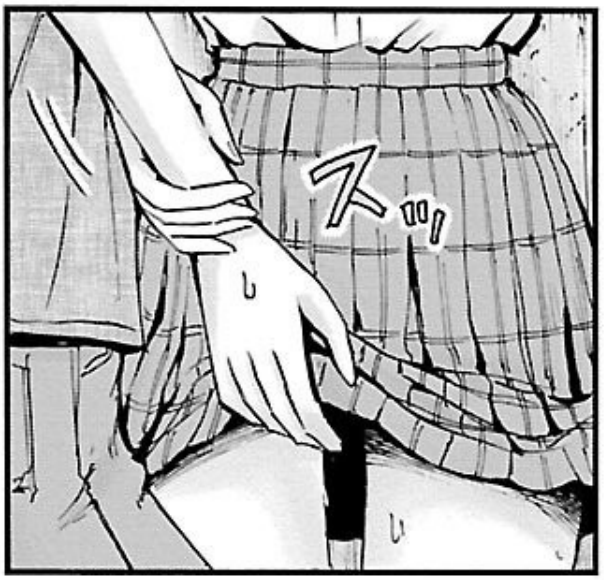
ってヤバ…足が
スイの股間に…
ぐぐっ

ん？ 真近で見ると
ほんのり頬が赤いよーな…
チラ

きゃっ
ちょ…スイ…!?
ピト
お兄サマ
やっぱり興奮
してたんですね
う…そ
それは…
私のパンツはいてるから
ですか？ それとも
私がスカートの中
何もはいてないからですか？
ぐいっ
お お前！
ニヤニヤ
…やっぱり
はいてなかった
のか？
さあ…？

ピクン
んんっ
ピク
ピク
くちゅ
ん？

ご自分で確かめてみます？
え？
ガシ


スッ

お前…やっぱり…!!
ハァ
ハァ
もう…濡れてるし…
くすっ

とろ
カク
カク
ポタ

意外とドキドキして…
ちょっと興奮してしまいました
でも…それは
お兄サマも同じみたいですね
くにくに
コ…コラ…こんな所で…
すすささ
ヤメ…
ん…く…
くちくち
なら…こっちも…
つぷっ
んんっ
ビクンッ
んっ

お兄サマ
こっちも…
ちょ…
何して…
ぐいっ
もみ
もみ
ガタン
ガタン
はっ
んっ
ん、
はっ
ん…お兄サマ
私…
オ…オレも
…もう…
んっ!!
ピュピュ

ビクン
あッ～～!!
ビクビク
ハァ
ハァ
ハァ
ゾロ
ゾロ
駅
駅
フフッ
な…なんだよ…
結局私のパンツもダメにしてしまいましたね
う…
明日一緒にパンツ買いに行きましょうか またノーパンで
パンツいらねーじゃん

妹!アンドロイド

Sister! Android Presented by Shiki Tanisawa

第40話

大ホール
どうだった？
ガヤ
ガヤ

第13回
日本アニメマンガ専門学校
出張編集部!!
各出版社の編集さんに
作品を見てもらおう!!
デビューへの道が
ここに!!

本アニメマンガ専門学校
日本アニメマンガ
専門学校

設定が複雑すぎ
背景が描けてないって…
キャラが立ってない
ストーリーも意味
わかんないって…
この作品の
テーマとか
いわれても…
あースゴイじゃん
名刺もらえる
なんて いいなぁ
うわーん
あの女編集者
怖かったよー

お 松田
なんだかんだで
原稿できたのかー
あ…
いや…
仕方ないから前に描いた
同人誌の原稿持ってきた

うわーナメてた
どーしよう
ヤベー

402
え？ あのちょい ロリエロの!?
こくん
ニ
お前… チャレンジャーだな
あ 松田君は 次 そこね
え？ あ ハイ
どーだった？
スゲー優しい きれーなお姉さん だった
へー ラッキー
失礼します
ゲ!?
ピシャーン
ね 姉ちゃん!?
なんでここに!?

秋川出版の松田です

お席にどうぞ

謀ったなヒメちゃん先生…!!

てへ☆

では作品を拝見します

…か帰る…

ダメですよ逃げちゃ

あ!

プロのマンガ編集者の意見はちゃんと聞いといた方がいいですよ

いや…そういう問題じゃ…

ううなんだよこの羞恥プレイ…

ここは地獄か…

ハイ ちょっと絵はデビューできる所まで来ないかな
ストーリーは…
読むの早!!
トントン
例えば この教室のシーンとか…
へーでも姉ちゃん 仕事の時は結構しっかりしてるんだ
ウチではいつも
しゅ〜ちゃん♥
とかなのに…
メガネのせい？ スイもそう見えたし…
なんか姉ちゃんが姉ちゃんじゃないみたいだなぁ…
ちょっと松田君 ちゃんと聞いてる?
え？ あ ハイ…
でね 正直 こういうロリとか妹とかのHなシーンは規制が厳しくなってて…
今 ウチの雑誌でもこういうのはちょっと…
え？ でもコレ… 本当の妹じゃ…
残念ながら規制側はそこまで読んでくれているかどうか…
そこで!

アドバイスとしては
これをちょっと変更して
大人の女性にすればいいと
思うの

好きなジャンルとか
あるでしょう？

人妻とか？

先生

家庭教師

お隣の
お姉さんに
義理の
お姉さん…

秋川出版
松田

そういう成熟した
大人の女性なら
問題ありません

全く興味がないわけ
じゃないでしょう？

そ そりゃあ…
まあ……

ガタ

そうよね
男の子なら

大きな
おっぱいや

秋川出版
松田

でん。
大きなお尻
スラリとした脚――
ストッキング――
スルッ
勿論好きに
決まってるわよね
ど
ホラ やっぱり反応してる
あう…
これは…別に…
ぐぐ
あら 何も
恥ずかしがる
ことないのよ
チラ
チラ

むしろそういう反応するのが正常なんですから
もっとお姉…成人女性に興味を持つようにするのよ
ホラ わかった？ 返事は？
はは ひ…
よろしい じゃぁ 次の人呼んできて下さい
スッ
へ？
あ…う うん…
ドキ ドキ

カンパーイ！

お疲れ様でした――

本当に今日はありがとうございましたー

ぐびぐびぐび

いえいえこちらこそー

いやーなつかし～出張編集～～～

私もやったなー

うわー何このメンツ…

あおいさんまでいるし…

フム なかなか

面倒なことにならなきゃいいけど…

なんだぁ松田～～～

ヒメに誘われてずっと待ってたんだぞぉ～

もうできし上がってるし～

だいたいなー冷たいぞー
私のファーストキスを
うばっておいて――

ちょ…何を
言って……

私の初めて
だったのにー

なのにお前は
何人目だ～～～？
！

ちょっ
……

ヤバ！
姉ちゃん
こっち見てる

チラ

プイ

アレ？

コラ――
聞いてんのか～
松田～～～

スルーされた？

本当に私ついて行かなくて大丈夫？

あ もうすぐそこですから

うう…気持ち悪い…

大丈夫です いざとなれば私もいますから

そ そうですね…

じゃあお願いします

バイバイ またねー

ブォーン

それじゃあ行きましょうあおいさん

私に寄りかかって下さい

……

すいません…

なんですか？お姉サマに見とれて

べ…別に

今日のお姉様 何かカッコいいと思いません？特にメガネとか

ま…まあ…

コロン
よいしょ

うーん
うーん 一人で大丈夫かな…

今日は私があおいさん見てますから
先にお二人は部屋に戻っていて下さい
お姉サマもお疲れでしょう
え？

たまには姉弟水いらず…ならぬスイいらずで
どーぞ
……
何か企らんでんじゃねーだろーなー

ガチャ
ハァーつかれたー

ハァ…なんかノド乾いた
ガチャン
姉ちゃんも何か飲む？
ん？ 姉ちゃん？
飲み過ぎて具合悪くなった？
ドン

チュ♡ チュ♡ チュ♡

ちょ 姉ちゃん 何すん…んんっ

だってあおいさんとキスしたんでしょ

そ…それは…あおいさんが酔った勢いで…んく…

やっぱりしたんだ

てことは年上のお姉さんもOKってことよね

ズズッ

私だって…ずっと…ガマンしてたんだから…

んんっ

ん…

プッ

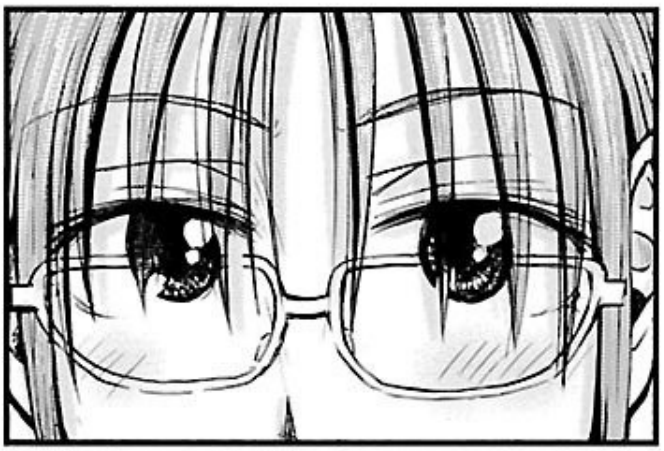
ちょ…

いいいわけないだろ姉弟でこんな…こと…

ふ——ん…

実の姉弟じゃなきゃいいわけだ

いや…そんなこと言ったって…



考えてみて 私達姉弟二人とも東京にいるのに

どうして両親が二人一緒に暮らすの反対したと思う？

だってそれは…オレを甘やかさないようにって…

…え？ 本当は違うの…？

だからホラ やわらかい
お姉ちゃんのおっぱい…
触って いいことしよ
スルッ
ん… 姉ちゃん…
さっきから姉ちゃんの 酒の匂いが…
はみっ
う…こっちまで…
酔ってきそう……
ポロッ
んちゅ
んちゅ
頭がまわらない……
そろそろお姉ちゃんと
Hなコト したくなってきた？
ズッ

ホラ…お姉ちゃんのおっぱい

味わわせてあげる

ぐん

んちゅ♥

ちゅぱ ちゅぱ

ん…そうよ

もみもみ

秋ちゃん

気持ちいい…

んぁ うまいわ

もっと強く吸って…ん

あん

そう

そお…
あら？
もっこし
苦しそう
お姉ちゃんにまかせて
今 楽にしてあげる
ホラ…おっぱいで
包み込んであげる
あ 見えなく
なっちゃった♡
どう？ お姉ちゃんの
おっぱい
気持ちいい？
う…うん…
あ 大きくなって
出てきた

う…
ちゅぽ
ちゅぽ
あう
ね…姉ちゃん…
ん?
そんなにしたら…
もう…
じゅぽ
ぐっぽ
まだ だぁめ
お姉ちゃんもぉ
チロ
チロ
くっ
コス コス
ぐりん
わ…
一緒に気持ち良くして…
ビリ

んっ
ぴちゃ
ぴちゃ
あッ
ズリズリ
はんっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐりぐり
すごい…
秋ちゃん…
上手…
あ
しこ
しこ
んあっ
ビクン
ダメぇ
お姉ちゃん…
も…もう…
ビクビク~
ビク~
ん…
オレも
………
フガ
フガ
く…

ビクン

どぴゅ

んあああ!!

どくどくどく

ピク

ピクピク

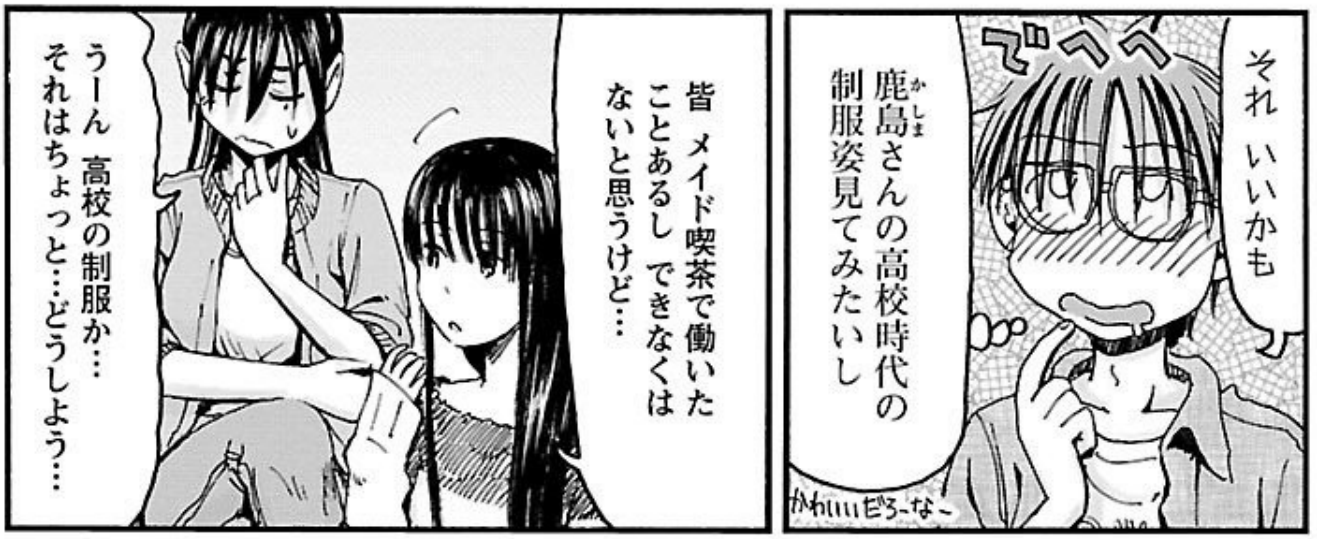
イタタ…
ズキ ズキ
昨日…飲みすぎちゃったかな…
お目覚めですか？お姉サマ
……
あ そうだ スイちゃんに貰ったメガネかけたら
なんかいつもより仕事できた気がするー
伊達メガネなのに…
ありがとー
流石 ご姉弟！
お二人ともメガネで人格変わるなんて 同じですね
ん？
えーどういうこと？でもまぁ秋ちゃんとは血の繋がった姉弟なんだし似てて当たり前よねー
え!?
だ だよね 本当の姉弟だよね
アレは酔った勢いでついたウソだよね!?
あ でも私も妹ですけど
ちょ ややこしくなるから今はやめて〜

第41話

制服喫茶〜〜〜!?

メイドの代わりにみんな高校時代の制服着てやるデス

アニメで見た高校の文化祭みたいのやってみたかったデス



イデデデデ…

これでも結構モテたんだよ

女の子にだけど

うっそだぁ〜

……

よし決めた！ じゃあ制服姿拝ませてやるから今度の週末はオレにつきあえ！

ええ——!?

なんでー!?

よかったねルコラちゃん

やったデス 制服作ったかいがあったデス！

あ そうだ アキちゃんは制服持ってマスカ？

文化祭は参加して欲しいデス

え!? アキちゃん!?

いいや～～～
どーかな～
ムリじゃね？
しょんぼり
そうデスカ…
いやー
まさか まだ
アキちゃんのこと
覚えてたとは
……
どーしょー
てく
てく
松田様
ペコリ
私(わたし) ルコラ様の
メイドをしております
ロゼと申します
あれ？
確かこの人 前に
ルコラを連れ戻しに
来た…
実はルコラ様が
アキ様のことで
落ち込んでおられまして

ズーン

ようこそお越し下さいました

アキ様

スゲー——

最上階 全部ルコラん家？

お嬢様アキ様がいらっしゃいました

ひょ

ホントにアキちゃんデスー

チュ♡

うわっ

よく来てくれたデスー

お スゲー 本当に声が女の子になってる

これをお付け下さい

我が社の最新ボイスチェンジャーです

えと…ルコラちゃん家スゴイねルコラちゃんて一体何者なの？

ゴロゴロ

ルコラ様はフューチャーハイブ社社長令嬢でございます

フューチャーハイブ社ってあの人工知能やロボットを作ってる…？

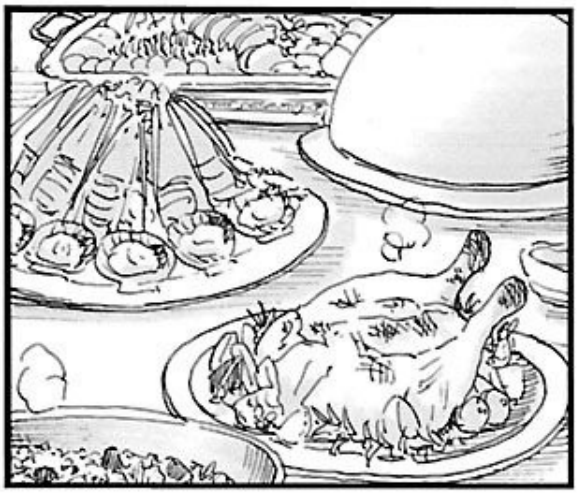
ブクリ

オレでも知ってる有名大企業じゃん

って アレ？ なんでスイが同じようなボイスチェンジャー持ってたんだ？

もしかして何か関係が…？

うおーなんか料理も豪華ー



ルコラちゃん いつもこんなお料理食べてるの？

今日はアキちゃんがいるから特別おいしーデス

なんだろコレ

一人で食べるより誰かと一緒に食べる方がおいしーデス！

特に皆で食べる鹿島のお弁当サイコーデス！

アキちゃんもぜひ食べに来るといいデス

あ うん…

鹿島さんめっちゃハードル上がってる…

そ…それニ…

アキちゃんにも

ぜひ部活の文化祭に参加して欲しいデス

え…でも私…制服持ってないし……

先程 採寸は済ませましたのでこちらで制服はご用意致します

いつのまに!?

う…こんな風に頼まれたら断りづらい…

えと…じゃあちょっとだけなら…

それでもいいデスやったデス

カチャ

ここがルコラの寝室デス

すごい良い部屋…と思ったら片隅にマンガとゲームがどっさり…

あれ？このマンガ…

ルコラ ウチで読んでたじゃん

あ そのマンガ面白いデス アキちゃんも読んだデスカ？

実は松田のウチで読んだのデスガ面白かったので自分の分も買ったデス

松田はダメなヤツですがマンガを見る目だけはあるデス

……

あ このマンガのこの人いいよね

わかるデス！ あと このキャラもお気に入りデス

あ そうそう

ゴーン ゴーン ゴーン

あ いけないそろそろ帰らなきゃ

え――イヤデス

もっとお話ししたいデス 今日はウチに泊まっていくといいデス

あ そうデス！

一緒にオフロ入るデス

ウチのおフロ眺めがいいデス!!

え？ いやあ流石にそれは…ねえ？

お湯は沸かしてあります

え!? でも……

ご安心下さい アキ様

私が全力でフォロー致しますので

でも万が一の時は

ボリ

死んで下さい

もあっ

うわーすごい湯気……

でもこれなら肝心の所見えない……

かも……
あ アキちゃん こっちデス
むにゅり
ぐい
ここからの夜景が綺麗なんデス
ちなみにマジックミラーになってマス
ドキン
って…コレは…やっぱりマズイかも…
今日は湯気がスゴくて見えずらいデス
もん
もん
ちょっと換気するデス
がら…
ヴィーン
ピッ
うわっヤバイ湯気が…
わっ!?
停電…?
フッ

いえ お嬢様 照明落とした 方が良く 見えるかと…

あ ホント きれいデス

ポー

あ 危な かった…

アキ様 困ります

ひそひそ

そんなに大きく されてはバレて しまいます

いや…その …すいません

今のうちに こちらへ

ちょ…!? ロゼさん!?

これじゃ結構大きく…

さっきフォローすると 言ったじゃありませんか

ピト

むにゅ

さぁ 私にまかせて 早くスッキリさせましょう

つて ロゼさん!?

なにそのカッコ…

エロッ

ばーん

あ ロゼ アキちゃんに 何してるデス?

どきーん

ハイ アキ様のお背中を流しておりました

ルコラもするデス

はう

いえ これは私の務めですから

お嬢様は少し待っていて下さい

さ 楽にして 私に身をあずけて下さい

ん…

にゅる

にゅる

まぁ…ご立派で

う…く…

もみもみ

あまり声は出さないで下さい

ビクッ ビクッ ビクッ

お嬢様にバレてしまいます

もちっ

う…そんなこと言われても…

あ…

くにゅ

くにゅ

背中に当たるおっぱい やわらけ〜気持ちいい〜

むにゅ

そして…この滑らかな手の動き…ヤバイ…

むにゅ

ぐちゅ

ぐにゅ

こ…これじゃスグに…

ビクッ

あう！

やっぱりルコラもするデスー！
ピク
ビク
少しは待てないんですか お嬢様 もう終わりました
えー だってテ～
次はお嬢様の番です
にゅるん
ひゃ!?
あら 今日は何か色っぽいですね お嬢様
そ そんなことないデス ロゼの洗い方がいつもと違うデス
まぁアキ様がいますし 少し念入りに洗わないと…
ごしごし
あ♡
ムラムラ
んっ
アキちゃんもあんまり見ないで下さいデス
ご…ごめんなさい…
ゴポゴポ

きれいになったデス

おまたせしましたアキ様

う…うん…

ドキドキドキ

あ 見て下さいアソコ綺麗デス

ちゅぷ

あ ホント……

ん!?

じゅぽ

ロゼさんそこは…

ちゅぽ

ぢゅぽ

えへへ アキちゃんと見られてルコラ幸せデス

ゾクゾク

わ わたしも…

なんて言ってる横でオレは…

スリスリ

ダメだ…う… 気持ちいい…
ビクン ビクビク
ヤ…ヤバイ も もう…
ぎゅうう
アキちゃん…
え…!?
ビクン
んんん!?
どぴゅっ
さ 先に上がるデス
へたっ
……
その後もアキちゃんに見せる
どうですカ? この下着
ルコラの無防備姿に興奮するたび——

若いから仕方ないとはいえ…

さっき出したばかりじゃないですか

ご…ごめんなさい

今日はウチに泊まっていって欲しいデス

まったく何度出せば……

一緒に寝るデス

またですか

もしかしてわざと私にこんなことさせているんですか？

『妹!アンドロイド』
第⑤巻／完

やはり
オニギリ
なのです
はむ
はむ
はむ

YC烈
COMICS
ヤングチャンピオン烈コミックス

妹(いもうと)！アンドロイド⑤

谷澤史紀(たにさわしき)

©SHIKI TANISAWA 2017

2017年6月1日　初版発行

発行者
沖　浩
発行所
株式会社 秋田書店
〒102-8101 東京都千代田区飯田橋2丁目10番地8号
【編集部】TEL.03-3265-7362【販売部】TEL.03-3264-7248
【振替口座】00130-0-99353

印刷所
三省堂印刷株式会社
装　幀
芦田慎太郎

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は、著作権法上での例外を除き、禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼して、スキャンやデジタル化することは、たとえ、個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。

（禁／無断転載・放送・上映・上演・複写・公衆送信・Web上での画像掲載）

ISBN978-4-253-25685-8
Printed in Japan

デジタル版　2017年発行
製作所　デジタルカタパルト株式会社
http://www.digital-catapult.com

★この作品はフィクションであり、実在の個人・団体等にはいっさい関係ありません。